

維新八策

「維新八策」では、「外交・安保」の大きな枠組みとして「日米同盟を基軸」と明記しています。憲法9条を敵視し、海外での武力行使を進める事を明らかにしています。

憲法

憲法改悪、9条改悪の国民投票

「維新八策」は、「憲法9条を変えるか否かの国民投票」と明記しています。

マスメディアなどは、憲法9条の「改正」の中身を示していないなどと論じていますが、憲法9条の「改正」とは、自衛隊と集団的自衛権の明記です。それは、天皇元首化とともに、改憲勢力の一貫した野望の最大のテーマに他なりません。

橋下・維新の会は、改憲勢力と連携する危険な政治勢力である事を自ら示したとも言えるでしょう。

橋下氏は、「憲法9条とは、突き詰めると平和には労力がいらぬ、自ら汗はかかぬ、そういう趣旨だ」などと9条攻撃を展開しています。



外交・安保

日米同盟が基軸

集団的自衛権の行使を認める

政治資金パーティーの翌9月13日の記者会見で橋下氏は、政府の憲法解釈で行使が禁じられている集団的自衛権について、「基本的には行使を認めるべき」と発言。「権利があって行使がないというのはあり得ない。行使のやり

方についてルール化することが目指すべき方向性」と述べています。

「維新八策」にある「日本の主権と領土を自力で守る防衛力と政策の整備」にそれが含まれるとしました。

集団的自衛権の行使は、米軍とともに海外で“血を流す”事が出来るようにするため、米国から求められてきたものです。また、「国連PKOなど国際平和活動への参加を強化」を掲げ、自衛隊の抜本的強化と海外派兵の強化宣言をしています。

